

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)

施策名 青少年の健全育成

施策コード 5020305

1. 施策の担当	
主管課	教育部 青少年課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり(子育て・教育)	節 第3節 生涯学習・スポーツ
	施策	青少年の健全育成	

基本方針

- 市内の青少年健全育成団体の自主的活動を支援するとともに、地域と連携し、多様な青少年活動のリーダーとなる人材の育成に努めます。
- 野外体験及び自然活動体験による青少年の健全育成に向けた取り組みを支援します。

現況と課題

市内の様々な青少年健全育成団体では、活発な自主的活動に加えて、地域を越えた交流事業を実施してきましたが、今後、少子化が進行していく中で、青少年を指導する人材の育成や、地域社会が一体となって青少年を支える環境づくりへの支援が求められています。

施策目標

対象(誰を、何を、どこを)
 青少年及び青少年と関わりのあるすべての市民

意図(どのような状態にしたいのか)

- 家庭では、親が子どもとコミュニケーションを図りながら学び合い、地域においては、大人が意識して子どもたちと関わるような状態をめざし、青少年が健やかに育つ環境づくりを進めます。
- 「地域の子どもは地域で育てる」環境を作ります。
- 市内の青少年健全育成団体の自主的活動の充実をめざします。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	47.8						
重要度(偏差値)	49.2						

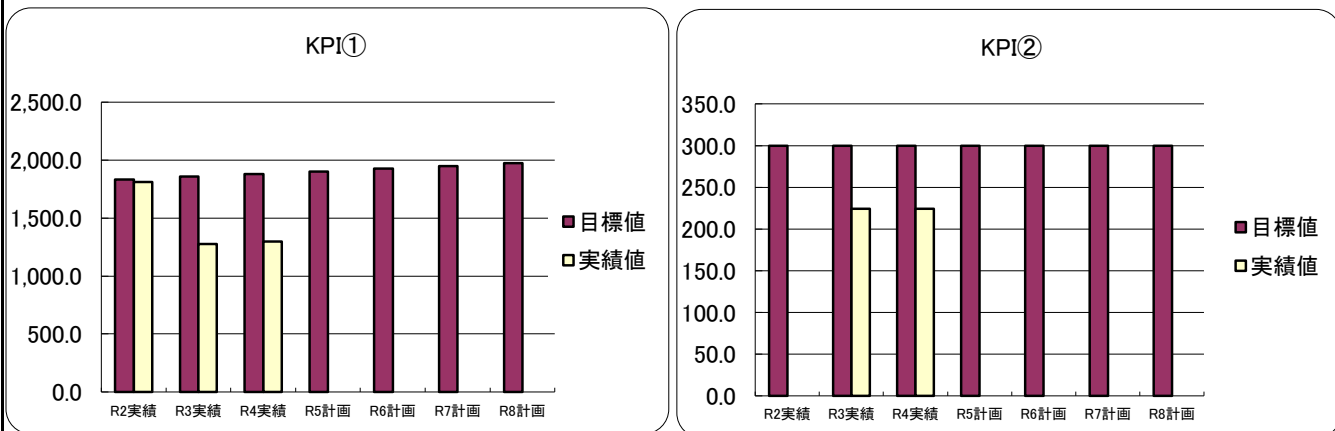
4. 施策にかかるコスト								
		単位	R3決算	R4決算				
コストの内訳	人件費	千円	47,332	48,075				
	事業費		29,493	30,704				
	フルコスト		76,825	78,779				
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0				
	府支出金		289	938				
	市債		0	0				
	その他		423	128				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		76,113	77,713				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		28,781	29,638				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		青少年健全育成関係団体の事業等参加者数					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	1,833.0	1,857.0	1,878.0	1,900.0	1,925.0	1,950.0	1,975.0
実績値	1,813.0	1,276.0	1,299.0				
達成度	98.91	68.71	69.17				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市子ども会育成連合会や青少年問題協議会等の青少年団体の参加人数により、青少年の活動状況を把握します。(R4:、青問協23名、単位子ども会登録名簿者数1,276名の計1,299名)		H29 5年間で年間利用者が7%程度の増加を目標値として設定した。 R5 1,900人 R10 2,000人		前年度と同様に推移していると考える。			

③ KPI2	わくわくふれあいハイキング参加者数						
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0
実績値	0.0	224.0	224.0				
達成度		74.67	74.67				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
青少年指導員が実施しているイベントであり、青少年指導員の活動状況を把握できます。	少子化の進み中で、現状の数値の維持を目標値とした。	令和2年度はコロナ感染防止のため中止したが、令和3・4年度は再開し令和元年度とほぼ同じレベルに持ち直した。

図表



6. 施策の事後評価		
判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	青少年健全育成については依然として大きな役割を担っている。
施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	青少年の健全育成施策は社会的に依然として要望の強い施策である。
施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	青少年健全育成施策は、社会的に大変重要な施策であり必要不可欠であるとともに、昨今の青少年を取り巻く状況を考えると今後重点事業である。
合計点	(10点中) 5点	
総合評価	C	人的・経費的に厳しい中、創意工夫により初期の目標値を目指し、一定の効果が見いだされたと考える。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	C	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)	C	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01058800	青少年健全育成事業	18,617	25,423	25,364	0	B
2	01062000	成人式事業	19,484	915	915	0	B
3	01062100	青少年指導員事業	4,420	2,795	2,795	0	B
4	01062200	ジュニアリーダー育成事業	3,550	238	169	0	B
5	01080770	おおさか元気広場推進事業	2,004	1,333	395	0	B
合計			48,075	30,704	29,638	0	